

初体験のスポーツに興味津々

◎ニューススポーツ体験デー2016

ダブルスでラケットテニスを楽しむ



「ニューススポーツ体験デー2016」は11月26日、鬼北総合公園体育館で行われました。「ニューススポーツ」とは、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを目的としたスポーツのことで、この日はスポンジボールを短いラケットで打ち合う「ラケットテニス」を体験。町内から老若男女46人が参加しました。特殊なボールのため、予測不能な動きに悪戦苦闘の参加者たち。しかし、すぐにコツをつかみ、最終仲間たちと楽しみながら、汗を流していました。

泉地区の文化に触れる充実の1日

◎遺跡まつり

お茶を振る舞う茶道クラブの児童たち



11月20日、泉小学校、泉公民館および岩谷遺跡公園を会場に、「遺跡まつり」が行われました。これは、泉地区の伝統・文化を継承し、活力に溢れた地域づくりを目指すことを目的に、毎年開催されています。会場では、10月に泉小学校の児童たちが収穫した古代米で作ったおにぎりの販売や、お茶会が実施され、会場は大いに盛り上がりました。また、泉小学校体育館では、牛鬼面や書道など地域の人たちの渾身の作品を展示。さらに、ステージでは舞踊などの芸能発表が行われ、来場者たちを楽しませていました。

四国遍路を1日で体験

◎四国八十八ヶ所霊場 お砂踏み

巡礼後、お守りを受け取る参加者



12月4日、愛治公民館で「四国八十八ヶ所霊場お砂踏み」が開催されました。「お砂踏み」とは、四国八十八ヶ所霊場の砂を集め、その砂を踏みながらお参りすることで、実際に各礼所を巡礼したと同一の御利益が得られるというもの。この日は、町内外から1000人を超える多くの人が訪れました。まず、第58番礼所仙遊寺の小山田副住職から、弘法大師の教えや、お砂踏みの作法などを学んだ参加者たち。その後、塗香、清水、般若心経で身も心も清められた来場者たちは、大地を踏みしめながら、各礼所に祈りを捧げていました。

わくわくドキドキの土器作り

◎第4回 きほく鬼ツズふるさと探検2016

丁寧に小皿を作る子どもたち



「きほく鬼ツズふるさと探検2016」は12月3日、中央公民館で行われ、町内の小学生11人が参加しました。第4回目となる今回は、土器づくりに挑戦。等妙寺旧境内で出土している「土師質(はじしつ)土器」と呼ばれる、丸いお皿の形をした素焼きの土器を真似て、小皿を作りました。まず、土器について勉強したあと、早速、土器づくりに挑戦。この日は、土台の粘土に、ひものように引き伸ばした粘土を積み重ねていく「ひも作り」という技法で行いました。初めての体験に、子どもたちは終始楽しそうに手を動かしていました。